

国立大学教育研究評価委員会（第62回）議事要旨

1. 日 時 審議開始 令和3年 7月 7日（水） 書面審議により開催
議 決 日 令和3年 8月 2日（月）

2. 参加者

（委 員）浅田委員、荒瀬委員、アリソン委員、池上委員、石井委員、井上委員、
宇川委員、小畑委員、小林委員、高橋委員、豊田委員、村田委員、
安井委員、山内委員、山口委員

- ・第61回の議事録について、資料1（案）のとおり了承された。

3. 審議概要

（1）委員長及び副委員長の選出について

委員の改選に伴う新たな委員長及び副委員長の選出について、各委員による互選の結果、委員長に山内委員、副委員長に豊田委員が選出された。

（2）第3期中期目標期間の教育研究の状況の評価に係る実績報告書作成要領及び評価作業マニュアルの策定に当たり検討すべき事項について

令和4年度実施の第3期中期目標期間終了時評価に当たって検討すべき事項について、委員から以下のような意見があった。

- ・ 検討事項②について、「4年目終了時評価結果を変えうるような顕著な変化」は「法人が判断した場合に記載する」とされているが、評価者が考える「顕著な変化」について、実態をどのように把握するかを検討する必要があると考える。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の蔓延による大学運営への影響をどのように判断するかを検討する必要があると考える。各国立大学法人等の中期目標や、所在する地域によってもその影響の大きさが異なる場合（緊急事態宣言の発出対象地域かどうか、など）があり得るが、中期目標期間終了時評価において影響を無視しえない項目もあると思われるので、これらの点をどのように考慮するかのコンセンサス作りが必要ではないかと思う。

（3）その他

第61回本委員会において了承された国立大学教育研究評価委員会ワーキンググループ設置要項に基づき、今後委員長の指名により構成員を決定していくことが報告された。

以 上